

所 属	基盤整備部 森林課		
担当(係)名	森林整備担当	内 線	3026

(款)6農林水産業費	(項)5林業費	(目)(14)造林費
(明細書事業名)	公共事業 森林整備事業	単独事業

1 当初予算(要求)額(千円)  
3,629,216

2 当初予算(決定)額(千円) 【財源内訳】  
3,013,092

国庫	県債	一般財源	その他
1,919,041	0	149,051	945,000

(前年度 3,447,515)

### 3 事業概要

森林には、水を蓄える働き、災害を防ぎ被害を軽くする働き、生活環境を快適にする働き、さらに、地球温暖化防止として二酸化炭素を吸収する効果等があります。これらの機能が十分に発揮されるには、きめ細かな森林整備が必要です。そのため、森林整備事業では針葉樹林のみならず、広葉樹林の整備や林齢の異なる林木からなる複層林の導入、また、**流木災害監視地域**での計画的な間伐等に助成し、「災害に強い森林づくり」「地球温暖化防止のための森林整備」を進めます。

### 4 施策の効果

県土の保全、水資源のかん養、地球温暖化防止といった森林の有する多面的機能の維持・向上を図ることができます。

- ・間伐目標面積(平成15年度):12,000ha
- ・**CO2吸収量**:1,666千CO2-トン(全国4位)

### 5 要求の内容

森林整備事業費補助金 3,452,884千円

森林の3区分(水土保持林、森林と人との共生林、資源の循環利用林)ごとに植栽・**保育**等の森林整備に要する経費に助成します。

間伐・広葉樹造林推進事業費補助金 176,332千円

流木災害監視地域内を中心に、緊急に間伐実施が必要な林分での間伐や、広葉樹造林等に対して補助率の高上げを行います。

### 6 用語の解説

複層林:樹齢、樹高の異なる樹木により構成された森林

流木災害監視地域:流木災害の発生する可能性の高い森林を市町村との連携により指定(236千ha)

CO2吸収量:京都議定書及びその運用ルールに基づく県試算値

保育:木を植えてから伐採するまでの木を育てる下刈り、除・間伐、枝打ちなどの森林施業

15ヶ月予算:経済情勢に配慮するため、14年度補正予算と15年度当初予算を一体的に編成する予算

## 7 決定の内容

森林整備事業費補助金

2,850,884千円

間伐・広葉樹造林推進事業費補助金

162,208千円

公共事業については、国の15ヶ月予算の考え方により個別事業の予算額を調整